Sagabi News 98

98

NEWS

最新の情報をお届けします。

大学報告

教育後援会総会報告

6月28日（日）、本部キャンパスにて、2026年度教育後援会総会を当日出席者47名、委任状363名、計410名をもって開催いたしました。総会では、2025年度事業・決算報告、2026年度事業計画・予算案のほか、新役員も選出され、いずれも全会一致で承認されました。また、総会閉会後には、キャリア支援担当職員による「進路支援セミナー」を実施し、その後は学科・分野領域別に分かれて、授業での取り組みの様子等について実習授業担当教員とご懇談いただきました。暑い中での開催となりましたが、本学の教育支援、教育環境の一端をご理解いただく良い機会となりました。

（管理運営グループ）



2026年度 オープンキャンパス・体験入学報告

本学入学希望者を対象としたオープンキャンパスを4月26日（日）、5月31日（日）、7月19日（日）、8月23日（日）に開催しました。学生作品の展示や入試説明会等多数のプログラムを実施しました。また、志望学科・分野・領域の授業を体験できる体験入学を5月10日（日）、6月14日（日）、8月2日（日）に実施しました。入学広報グループでは今後も広報活動や内容の充実に励み、多くの方に本学の学びを知っていただけるよう努めます。

2027年度入試では、総合型選抜Ⅰ期〈体験授業型〉を嵯峨美術大学は9月12日（土）に、嵯峨美術短期大学は9月13日（日）にそれぞれ実施し、多くの方にエントリーをしていただきました。同じく総合型選抜Ⅱ期〈面接型〉を嵯峨美術大学は10月4日（日）に、嵯峨美術短期大学は10月3日（土）に実施します。また、今年度のスカラシップ（特別奨学生）選抜を11月と2月に実施します。本選抜の合格者は特別奨学生として採用され、嵯峨美術大学では総額200万円（年額50万円×4年間）、嵯峨美術短期大学では総額100万円（年額50万円×2年間）の給付を受けることができます。（※継続審査あり）

（入学広報グループ）



告知

2026年度　嵐芸祭実施について

2026年10月17日（土）、10月18日（日）に嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学の学園祭「嵐芸祭」を開催します。両日とも10時から開催予定です。

今年のテーマである「zuutto!!」には、「ずうっと続けばいいのに」と思えるほど楽しい学園祭にしたいという願いが込められています。

恒例の嵯峨美生によるライブパフォーマンスや物販・飲食模擬店をはじめ、客員教授・大槻香奈先生と学生有志によるアートプロジェクト展や、学内での公募展「サガビ公募展2026」を開催します。また、「zuutto!!」から連想し制作したオブジェをキャンパス内に設置する予定です。

嵐芸祭が、2日間限りのイベントではなく、その先の日常へとつながり、一人ひとりがより自分らしく輝き続けるきっかけとなることを願っています。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

（学園祭実行委員会）



NEWS

最新の情報をお届けします。

報告

2025年度　教学振興資金寄付ご報告

教学振興資金寄付につきまして、ご協力賜りました皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。2025年度寄付金額は古本募金も含めて36件、601,697円となりました。
昨年に引き続き、空調の更新工事や学内のLED化工事、老朽化した施設設備の改修工事などを実施し、在学生の学習環境の充実を図りました。
リサイクル募金さがリボンプロジェクト（2025年度）につきましては、皆さまの善意により、20,624円となり、本学附属図書館の図書購入費用として活用させていただきました。
本学附属図書館は在学生のみならず学外の方にもご利用いただいております。ご不要となりました本・DVD・ブランド品等ございましたら、学内に設置のリサイクル回収ボックス※1にご投函ください。もしくは5点以上を段ボール箱に詰めて、きしゃぽん（フリーダイヤル0120-29-7000またはWEBフォームhttps://lp.kishapon.com/sagagei/）へお申し込みいただければ、送料無料で希望日時に宅配業者が集荷に伺います。

今後とも社会に有為な人材の輩出を目指し、教育・研究に係る施設・設備・制度等の整備・充実に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
（管理運営グループ）

2025年度　寄付者の方々（順不同）

教学振興資金寄付へのご協力、心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

藤本ジョエラ様 、西田眞喜生様 、西郡秀和様 、杉山洋一様
森本佐知子様 、桑田奈穂子様 、森下和代様 、稲垣和美様

お名前の公表を希望されない方につきましては、掲載を控えさせていただきます。

※1　回収ボックスの設置箇所は、「管理棟1F事務局内」「C棟3F教育・機材サポートセンター前」の2ヵ所となっております。

告知

2026年度　教学振興資金寄付のお願い

本学園では教育研究に関わる活動に対する支援を目的として、毎年、教学振興資金の寄付を募集しております。この寄付金は教育研究活動、施設設備等の教育研究環境、学生の奨学制度など、学びの環境を充実させるために活用します。
金額は個人：1口5万円、法人：任意とさせていただいております（1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします）。令和8年4月から令和9年3月末まで、在学生保護者、卒業生、教職員、法人、一般有志の方々等へ広く募集を行っております。

個人で本学園へのご支援をお考えくださる方は、本学Webサイト「ご寄付のお願い」からお申し込みいただけます。
また、法人の方は、全額損金算入が可能な「受配者指定寄付金」のお取り扱いが可能ですので、管理運営グループまでお問い合わせください。
なお、ご親族・お知り合いの方などにご支援くださる方がいらっしゃいましたらお知らせいただければ幸いです。
今後も在学生の学修環境の充実に努めてまいりますので、昨今の厳しい経済情勢で申し上げにくいお願いではありますが、温かいご支援をお願い申し上げます。
（管理運営グループ）

本学園Webサイト
「ご寄付のお願い」
https://www.kyoto-saga.ac.jp/donation

個人の方、
インターネットでのお申込み
https://www.kyoto-saga.ac.jp/donation/#private
各種クレジットカード、コンビニ支払、ペイジーが利用できます。

リサイクル募金
さがリボンプロジェクト
https://lp.kishapon.com/sagagei/
読み終えた本などのリサイクル品で募金ができます。

ふるさと納税によるご寄付
ふるさと納税制度を活用して、本学園をご支援いただくことができます。
詳細は京都市ふるさと納税のサイトをご確認ください。 https://furusato-kyoto.jp/
※京都市内にお住まいの方が京都市に「ふるさと納税」をされた場合、法令上、返礼品をお送りできません。

問い合わせ先：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学　管理運営グループ（寄付金窓口）
Tel.075-864-7858 / Fax.075-881-7133
e-mail：soumu@kyoto-saga.ac.jp

社会連携事業

「愛宕古道街道灯し」第31回目を迎えて

1996年に始まった「愛宕古道街道灯し」は、第31回目の開催を迎えました。本学は1997年より、主催団体である嵯峨野保勝会と協力し、この行事の企画や運営に携わってまいりました。地域文化の継承と新たな魅力の創出を目指し、本学学生・児童生徒・地域住民がともに灯りをつくり、歴史ある街道を彩るこの行事は、奥嵯峨の夏の風物詩として親しまれています。

今年のテーマは「進化」。生命は約40億年という長い時間をかけて、環境に適応しながら姿や能力を変え、多様な生きものへと進化してきました。

今年の行灯に描かれたのは、その歩みの先に広がる「どのような姿へ進化していくのだろう」という想像から生まれた、新しいいのちの姿です。

京都嵯峨学園（嵐山・嵯峨・広沢の各小学校および嵯峨中学校）の児童・生徒とのワークショップでは、「1000万年後の生きもの」をテーマに制作を行いました。透明な鳥や空を泳ぐ魚、光を放つ植物など、生きものの特徴や暮らす環境を自由に想像しながら、それぞれが思い描く「進化」を行灯に表現しました。

一方、学生サークル「竹造」が制作した大行灯では、鳥や魚、昆虫、植物、そして人類など、多様ないのちが進化していく姿を描きました。生命が積み重ねてきた長い歴史を礎に、その先に広がるまだ見ぬ可能性を表現することで、子どもたちが生み出した数々の行灯と響き合い、街道全体が「進化」の世界に包まれました。


和紙染めの様子

初日は雨となりましたが、ひょっとこの練り歩きや和太鼓の演奏など、点灯式にまつわる行事が始まると、歴史ある町並みは多くの来場者で賑わいました。盆踊りや子ども縁日も行われ、やわらかな行灯の灯りと地域の人々の笑顔が重なり、子どもから大人まで世代を超えて夏のひとときを楽しむ、愛宕古道街道灯しならではの風景が広がりました。

歴史ある嵯峨鳥居本の町並みに灯る、新しいいのちの姿。その一つひとつの灯りは、40億年にわたる生命の歩みの先にあるまだ見ぬ可能性を映し出し、訪れた人々の想像を広げました。生命が進化を続けるように、この祭りもまた、人と地域に育まれながら、その時代ならではの灯りをともしていきます。

（附属芸術センター研究員　西原秀倫）


嵯峨中学校でのワークショップ


地域の子どもたちが作った行灯や大型の行灯が並ぶ街道

TOPICS

話題の出来事をお届けします。

社会連携事業

京都芸術教育フォーラム「こどものためのアートワークショップ」活動報告

2026年8月3日、京都芸術大学の相照館において実施された、京都芸術教育コンソーシアム（Art-e Kyoto）主催、京都芸術教育フォーラム「こどものためのアートワークショップ」において、ワークショップ「レゴブロックでデザインを学ぼう！」を実施しました。

本ワークショップの目的は、レゴブロックを使ったグループ制作を通して子どもたちに、ものづくりにおける意思疎通と合意形成の大切さを体験してもらうことです。参加者は当日初めて出会った子どもたちで少人数のグループを組み、40分間のプログラムを体験しました。

プログラムは、導入、テーマ発表、制作、発表・まとめの順で進行しました。冒頭に教員からレゴという会社とブロックの柔軟性について簡単に説明した後、「船」をテーマに制作しました。条件は、1テーブルで1つのまとまった船をつくること、発表時に持ち上げられるよう丈夫につくることの2点です。材料には、2×4の白いレゴブロックを用意し、約25分間で制作しました。

事前のスタッフ打ち合わせでは、初対面の子どもたちが円滑にコミュニケーションを取れるか、意思疎通が難しい場合にどう対応するかなど、さまざまな状況を想定して検討していました。

当日は、内田教授、滝村准教授に加え、教職課程有志の学生ボランティア4名が参加しました。学生たちは各テーブルで子どもたちの意見を絵にまとめ、役割分担を促しながら、それぞれのアイデアを一つの作品にまとめる手助けをしました。

子どもたちは多くのレゴブロックを前に目を輝かせ、初対面同士でも積極的に制作に取り組みました。各グループとも概ね時間内に船を完成させ、発表することができました。

終了後に子どもたちから聞こえた「楽しかった～！」という言葉は、何にも代えがたい報酬でした。今回の成功は、子どもたちの創造性と、それを引き出した学生ボランティアの働きによるものだと感じています。この経験が、参加した子どもたちの今後のグループワークやコミュニケーションに活かされることを願っています。

（芸術学部 デザイン学科 生活プロダクト領域 楠林拓 教授）



発表では、どんな船を目指したかも話してもらいました



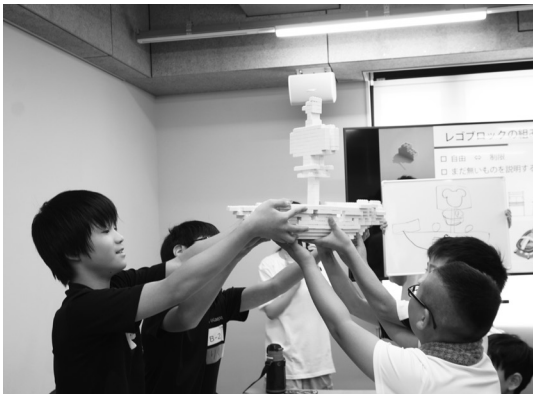
ブロックを前に絵を描いて意見をまとめました



持ち上げると壊れやすいので協力して支えていました



完成した作品をもちあげて、発表しました



こちらのチームはブロックに慣れていて組立が早かったです

INFORMATION

展覧会情報

北島文人／造形学科 日本画・古画領域 准教授、池上真紀／造形学科 日本画・古画領域 講師、木岡史／造形学科 日本画・古画領域 教務助手、清水葉月／非常勤講師、三好温人／卒業生、竹下麻衣／卒業生

生動2026

会　期：2026年10月13日(火)～10月18日(日)
ギャラリートーク：10/17(土)、18(日)
時　間：10:00～18:00　※最終日は17:00まで
会　場：京都市美術館別館 第2展示室
　　京都市左京区岡崎最勝寺町 13

日野田崇／芸術学部 造形学科 複合領域 教授

個展「着地した光の音楽」

会　期：2026年10月3日(土)～10月24日(土)
　　※日・月・祝祭日休廊(展示替え期間、常設展示期間は除く。)
時　間：12:00～18:00
会　場：imura art gallery
　　京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31

日野田崇／芸術学部 造形学科 複合領域 教授、増田敏也／非常勤講師、田中悠／非常勤講師

「ゲンダイトウゲイ*ミニ*クロニクルーやきものはアートだ!」

会　期：2026年9月19日(土)～11月23日(月・祝)
　　※月曜日休館(ただし、9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館し、9月24日(木)、10月13日(火)は休館)
出品作家によるリレー・トーク(田中悠参加)：9月19日(土)11:00～
時　間：10:00～17:00　※入館は閉館時間の30分前まで
会　場：兵庫陶芸美術館
　　兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4

京都絵美／芸術学部 造形学科 日本画・古画領域 准教授

第3回@えぎぬ展

会　期：2026年10月31日(土)～11月29日(日)
　　※11月2日(月)・9日(月)・13(金)・16日(月)・17日(火)・24日(火)・25日(水)は休館日
時　間：10:00～17:00
　　※11月20日(金)のみ10:00～19:00(入館は18:30まで)
会　場：各務原市立中央図書館
　　岐阜県各務原市那加門前町3-1-3

京都絵美／芸術学部 造形学科 日本画・古画領域 准教授

第13回 双の会

会　期：2026年11月12日(木)～11月28日(土)　※日・祝休廊
時　間：10:00～18:00　※土曜10:00～17:00
会　場：春風洞画廊
　　東京都中央区日本橋3-8-10

京都絵美／芸術学部 造形学科 日本画・古画領域 准教授

京都絵美個展 –結–

会　期：2026年11月18日(水)～11月24日(火)
時　間：10:00～19:00　※最終日は16:00閉廊
会　場：松坂屋名古屋店本館8階ART HUB NAGOYA 第一画廊
　　名古屋市中区栄三丁目16番1号

江村耕市／嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 学長
有坂あづ美／嵯峨美術大学 デザイン学科 観光デザイン領域 講師
池上典衣／嵯峨美術大学 デザイン学科 イラストレーション領域 講師
安井健二／嵯峨美術短期大学 デザイン分野 アニメーション領域 特任准教授

日韓大学教員作品交流展

会　期：2026年11月9日(月)～11月12日(木)
時　間：11:00～19:00　※最終日は11:00～16:00
会　場：近畿大学 実学ホール
　　大阪府東大阪市小若江3-4-1

※会期・内容は変更する場合があります。休館日等は事前にお確かめください。

行事予定 Aug.2026 — Dec.2026

8月	24日(月)～2日(水)	前期集中授業
9月	12日(土)	総合型選抜Ⅰ期〈体験授業型〉大学
	13日(日)	総合型選抜Ⅰ期〈体験授業型〉短期大学
	21日(月・祝)	後期授業開始
10月	3日(土)	総合型選抜Ⅱ期〈面接型〉短期大学 3年次編入学選抜(前期)大学
	4日(日)	総合型選抜Ⅱ期〈面接型〉大学
	11日(日)	専攻科選抜(前期)短期大学 大学院選抜(前期)
	17日(土)～18日(日)	学園祭※18日はオープンキャンパス同時開催
	31日(土)	総合型選抜Ⅲ期〈実技型〉 3年次編入学スカラシップ選抜/大学
11月	1日(日)	スカラシップ選抜(前期)
	15日(日)	学校(指定校)推薦型選抜
12月	5日(土)	海外帰国生・社会人選抜 外国人留学生特別選抜

※行事は都合により日程や内容を変更する場合があります。

今号の色 韓紅

韓紅(からくれない)とは、紅花で染めた濃い紅赤色のことです。当時の紅花は黄金に例えられるほど高価だったことから、濃い紅色は『禁色(きんじき)』とされていました。とは言え、いつの時代も人は美しい色に惹かれるもの、濃く鮮やかに染められた『韓紅』の色は貴族たちにとって憧れだったようです。「韓」の字は朝鮮半島の三韓ではなく、紅花の産地であった中国を意味しています。

KYOTO SAGA UNIVERSITY OF ARTS
学校法人 大覚寺学園
嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学

公式 Web サイト
https://www.kyoto-saga.ac.jp

公式 X
公式 Instagram
公式 YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町 1 番地
TEL：075-864-7858(代)　FAX：075-881-7133　E-MAIL：info@kyoto-saga.ac.jp

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報誌 第98号2026年9月18日発行　編集:嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行元:学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学